

## 「日本のインバウンド観光産業再生」の記者発表会を国土交通省 記者会見室でおこないました。



写真:左から

石井専務理事・ミッキーガン専務理事・王理事長・野口副理事長・甲斐顧問・吉田専務理事

一般社団法人アジアインバウンド観光振興会【AISO】(本部:東京都新宿区 理事長 王一仁)は、本日、国土交通省記者会見室に於いて「日本のインバウンド観光産業」のテーマで記者発表を行いました。

発表内容はインバウンド観光業界において過去に例を見ない長期間にわたり業務がストップ状態であり、未だ再開の目途が立たない厳しい状況下の中、先に陳情書(別添)を国土交通大臣に提出し、新たな政府支援(追加措置・環境整備)を求めると共に With/After コロナに向けた「安全で安心な旅のスタイル」を定着させる行動など本格的なインバウンド回復の為に新たな取組や、アジア各国旅行社の現状と訪日意欲について説明後に記者からの質疑応答を受けました。

### 【発表内容の骨子】

1. インバウンド観光業界の日本における経済波及効果及び困窮状況
2. 主たるアジア各国の訪日旅行再開への期待と現状
3. 日本滞在中の新型コロナウイルス感染予防対策
4. With/After コロナにおけるインバウンド(旅行業)の健全化及び人材育成
5. 地方創生への取り組み

AISOとしては、今後もインバウンド再開に向けて記者発表を開催していく所存でありますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和3年11月25日

一般社団法人アジアインバウンド観光振興会  
ASIA INBOUND SIGHTSEEING ORGANIZATION 【AISO】  
理事長 王一仁

## 【記者発表メンバー】

王 一仁(オウ イチジン) 理事長 (日本ワールドエンタープライズ会長)

野口 義和(ノグチ ヨシカズ) 副理事長(時代村相談役)

石井 一夫(イシイ カズオ) 専務理事(ジェイテック社長)

顔 暁陽(ガン シャウ ヤン) 専務理事(AISC 社長)

吉田 建(ヨシダ ケン) 専務理事(AISO 事務局長)

甲斐 賢一(カイ ケンイチ) 顧問(Visit Japan 大使)

# 新型コロナウイルス感染症で影響を受けるインバウンド観光業界に関する陳情

令和3年11月22日

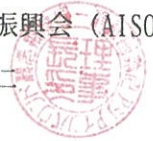
国土交通大臣 齊藤 鉄夫 様

陳情者

東京都新宿区西新宿7-5-5 プラザ西新宿603

一般社団法人アジアインバウンド観光振興会(AISO)

理事長 王 一仁



## 1 経営支援

- (1) 雇用調整助成金特例措置の延長
- (2) 家賃支援給付金の支給再開（既に令和3年2月15日で給付事業終了）
- (3) 月次支援金に対する支給追加措置
- (4) 資金繰り支援（返済期間・据置期間の長期延長、追加融資に対する信用保証制度）

## 2 環境整備支援

- (1) ワクチンパスポートの活用による査証免除措置の停止及び発給された査証の効力停止措置の撤廃  
観光を目的とする日本入国時の待機措置の撤廃
- (2) Go To トラベル再開時に「期間限定」でインバウンド（訪日外国人）への適用、世界に発信
- (3) 訪日外国人の新型コロナウイルス感染患者受入れ病院の拡充
- (4) 訪日外国人（非居住者）の新型コロナウイルス感染患者への治療費用支援
- (5) 新型コロナウイルスで進む観光のデジタル化など先進国に合わせた早期取組
- (6) コロナ禍において離散したインバウンド産業の人材育成支援
- (7) 国際旅行の早期再開

### [理由]

我々インバウンド観光業界団体は、「観光立国推進基本計画」に基づき推進してきた結果2019年（令和元年）の訪日外国人旅行者数は、ビザの緩和や消費税免税制度の拡充、CIQ体制の充実などにより7年連続で過去最高を更新しました。しかしながら、2020年（令和2年）新型コロナウイルス感染症の世界的な流行にはじまり、変異株の感染拡大等を受け、日本においても水際対策強化・継続により移動の制限や旅行を控える動きが生じ、観光需要は大幅に減少するなど非常に厳しい状況が続いております。

特にインバウンド観光業界においては、過去に例を見ないほど長期間にわたり業務がストップ状態であり、未だ再開のメドが経たない厳しい状況下にある全国約900万人が従事する観光産業では、雇用の維持、事業の継続、生活の下支えが不可欠であり、新たな政府支援（追加措置・環境整備）を求めるものであります。With/After コロナにおける「インバウンド観光業界V字回復を願い、本書をもって陳情とさせていただきます。